

久慈城



【岩手県指定史跡 久慈城跡 令和4年4月8日指定】



上空から見た久慈城跡（城跡の範囲を彩色）

久慈城は久慈氏の居城で、久慈信実が文明年間に久慈大川目に居を構えたと伝えられています。中世の山城であり、主郭や堀切などが良好な状態で残っています。天正十九年（一五九一）の九戸政実と南部信直との戦い「九戸一揆」で、久慈直治・政則父子は九戸方の武将として参戦しましたが、九戸方は破れて久慈氏の直系は滅亡し、久慈城も廃城となりました。

【久慈城跡 位置図】



【お問い合わせ】

久慈市教育委員会事務局 文化課 郷土文化係
 岩手県久慈市川崎町17番1号 ☎0194-52-2700

【久慈城跡の解説】

久慈城は別名八日館、通称新町館と呼ばれ、久慈川沿いに開けた平野を一望する標高約80m、平地との比高差約40mの丘陵を利用して築いた山城で、現在も主郭やⅡノ郭、壕跡、馬場跡などが良好な状態で残っており、中世山城の条件を備えた極めて重要な史跡です。

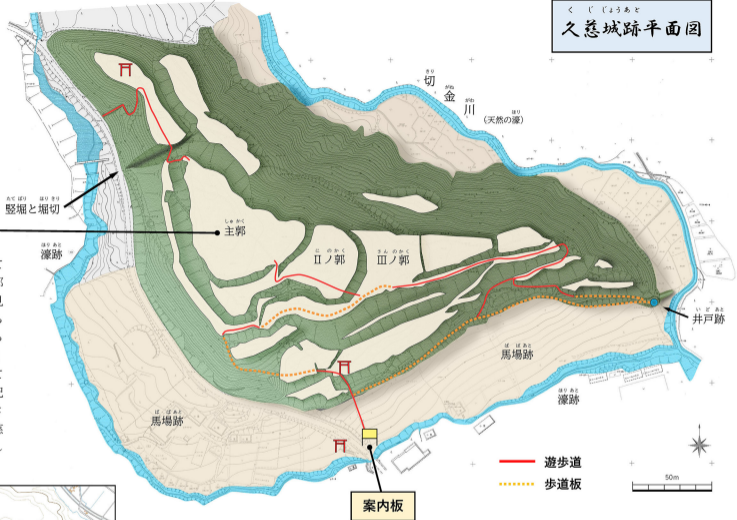
久慈城は、南部氏の一族であり久慈地方の領主であった久慈氏の居城でした。その築城年代は定かではありませんが、久慈備前守信実が「居を久慈大川目八日館に構え」、「文明年中に久慈を領して久慈氏と称す」などの記録があり、文明年間（1469～87）に信実が居城したと推定されています。

天正19年（1591）、久慈備前守直治は、九戸城主九戸政実と三戸城主南部信直との戦い「九戸一揆」の際、娘婿久慈政則とともに九戸方の武将として参戦しました。しかし、豊臣秀吉の命により信直を救援した豊臣秀次を総大将とする大軍の攻撃を受け、九戸城に籠城し善戦しましたが、浅野長政の謀略により、ついに九戸方は降伏開城しました。

久慈備前守直治・政則父子は九戸政実と九戸方の武将らとともに捕らわれの身となり、栗原郡三迫（現在の宮城県栗原市）に送られて処刑されました。

「九戸一揆」の際に久慈城は戦場とはなりませんが、城主である久慈氏の直系が滅亡し、豊臣秀吉の諸城破却命令により取り壊されました。天正20年（1592）6月の破却書立には「久慈山城破却」と記されています。

くじょうあと
久慈城跡平面図



【発掘調査】

平成3年に城跡の一部において発掘調査を実施した結果、主郭から掘立柱建物の柱穴群が発見され、建物があったことが明らかになりました。柱穴が重なっていたことから、建物は少なくとも3度の建て替えが行われていると考えられます。15世紀頃と推定される建物跡も確認されており、これは久慈氏が久慈城を居城とした年代とも一致します。



【周辺の地名】

久慈城跡の周辺には久慈城に関係する地名や屋号が残されています。

- | | |
|-----------|-------------------------------|
| 主郭（しゅかく） | …城内に築かれた平場が郭であり、城の核となる郭を主郭という |
| 郭（かく・くるわ） | …馬をつなぎ止めた所 |
| 馬場跡（ばばあと） | …水をたえた堀 |
| 濠跡（ほりあと） | …斜面に対し縦方向に掘られた堀 |
| 竪堀（たてぼり） | …尾根を断ち切るように掘られた堀 |
| 堀切（ほりきり） | |